

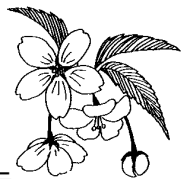
斜里町議会議員 4期やりました

桜井あけみ 議会レポート

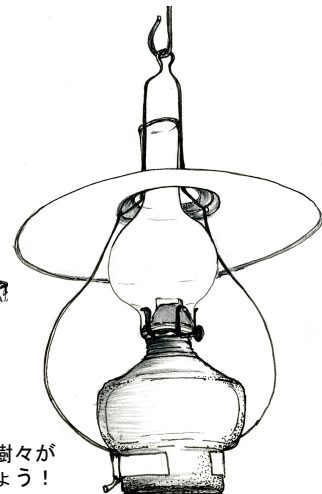
No. 66

最終号

2023年 3月24日発行



開拓の跡地・生活の痕跡・もう、こんな風に見えないくらい樹々が茂っています。でも、カラマツはいけない！なんとかしましょう！



みなさん こんにちは

3月議会が、今期4年目3月14日に終わりました。
いつもよりも「雪が遅いねえ」と言っていた12月でしたが、その雪がすでに、もう、消えていますね！
みなさん、お元気でしたか？

3月議会は、12月に議員辞職された山内さんも、10月に亡くなられた宮内さんの席も空いていて、少しさみしい感じでした。

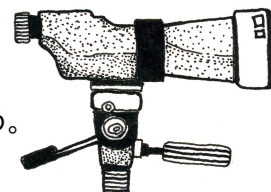
斜里町議員の定数は、前期に一人減り13名になりました。以前も定数については議会内で協議をしてきましたが、減らせばいいというものでもありません。斜里の人口規模から見ると、産業規模は大きいことから、その辺もしっかり考慮する必要があると思います。現在の人口は10600人ほど。
人口1000人に一人と言われたりしていますが、先に書いたように、農業、漁業、そして観光の産業があります。それぞれ規模が大きいです。

そう考えると、10000人になっても、12名かなあと、前期にも考えていました。
ただ、人口の減り方が予想以上に大きくて、不安です。

働く議会でなければ、なりません。
今回の議会では、まちづくりという課題の議論が多かったと思います。まちづくりの大切なことは人づくりです。そして、つながりです。

町の事業や、方向性について議員は町民の代弁者として、どのような仕事をしているのか？
それをお知らせすることも、大切な議員の役目です。さて、3月議会、どんなことが協議され、どんな課題があったのでしょうか。

どうぞ、目を通してください。
できれば、一緒に考えましょう。
私たちの町のことから。



●さて、議員になって16年4期過ごしてきた、 私が見てきた議会のことを少し書きます。

・斜里町議員は、みなさん真面目です。サボったり、居眠りも、ひどくはありません。最近はライブ中でも、説明が長いときや全体が映らないときにコックリコックリされる方が少数いらっしゃるくらい。視察移動中でも飲酒なんてありません。多分、ずっと昔の話です。

・以前も書きましたが、議員の経験なんて役には立ちません。むしろ、おかしい前時代的な「慣習や慣例」は、議会活動を妨げます。
高齢者は、私含めて、やはり自分の経験値での判断にこだわりますから、そこが問題だと思います。

・斜里町議会での、質疑はとても活発です。それが議員の仕事だと思いますから、ふーん・・・で終わることはないと思います。他町の議会をいくつか傍聴して来ましたが、質疑応答がしっかりされている議会です。

・いまだによく言われますが、議員年金はもう12年前に廃止になっています。12年前にかつての議員年金をもらっている人は継続です。私は最初の4年間、毎月3万円を引かれ、廃止になって戻って来たときは2割くらい引かれていました(涙)

・最近思うことは、一般質問の答弁が、ちょっと雑だなあとすることです。私の文章が？おかしいのか？と思いましたが、先輩議員に聞いても同じ感想でした。当然、噛み合いません。そこが残念です。

- ・議長は報酬プラス10万円(必死に争う訳よね)
- ・副議長はプラス5万円(役割ってよくわからない)
- ・委員長は2.3万円(櫻井は今期4年間委員長でした)



選ぶのは町民です

やっぱり、ちゃんと働くことだと思います。
名誉役職はいらないかな～



●こんな
つもりで
一般質問



16年前の6月の
一般質問から
今回まで皆勤賞！
でした～



●町長が12月議会で言っていた やり残したことにウトロの観光施設整備 入ってますか？

確かに、コロナもあった。観光船事故もあった。
でも、観光の施設整備に関する質問を始めたのは、
もう10年以上前から。なぜって、ウトロ地域の再整
備計画の道の駅が完成した頃から、町は、老朽化し
たトイレ整備もせず（これは昨年撤去）、大型、小
型観光船の港利用の計画も対応もせず、利用者増に
伴う案内施設も狭く、キャンプ場も、夕陽台の湯も
フレペ展望台も。

そして、こう回答してきました。

「関係する事業者、関係機関と協議が必要。課題を
持ち合い、どうあるべきかを検討して進めます。」

そして、未だ、協議のテーブルすらない。

最近「事業主体がないかもしれない・」と。どん
な施設になるか、どんな改修になるのか？何が必要
かも協議されていないところに、事業運営主体なん
て、手もあげないでしょう。

と、思います。

こうした質問をすると、町長は「ウトロ、ウトロば
かりとは、ならない。斜里町全体で」とおっしゃっ
たことがあります、どう考えても観光はウトロ地
域なのです。

行政が取り組むべき施設整備は、全体計画の中でど
のような機能を持つものになるのか？

そこが、今、大切な時ではないでしょうか？

ぜひ、来期に町長のおっしゃっていた「やり残したこ
と」として、推進されることを期待します。

●ウトロ義務教育学校の成果と課題

ウトロ学校は、小中併置校のメリットを最大限生か
した教育環境を地域が求めた結果、取り組みが始ま
りました。その取り組みを、教育長に伺いました。
同時に、今後の課題についても対応などを聞きました。
課題は職員の入れ替えの中、引き継ぎの仕組み
づくりなどだそうです。

こうした取り組みが、斜里町全体の学校へと普及し
ていけば、良いと思いますが、なかなかそれは難し
いそうです。

斜里町内の児童生徒と、ウトロ学校の児童生徒の交
流なども実現すると良いと思います。

●竹富町や弘前市 児童館交流を継続的に続けて欲しい

子どもたち、児童生徒にぜひ、交流派遣のチャン
スを継続して作ってください。その機会は大人よりも
子どもたちに与えられるべきと思います。

大人は5年に一度でも10年に一度でもいいでしょう。
斜里町の将来を担う彼らに、力を入れて、その機
会を与えて欲しいと思います。

●世界自然遺産エリア 知床100m²運動・生態系に影響は？

開拓の方々が植えたカラマツや、運動開始時に植
えたアカエゾマツは、元々ここにはなかった種類の
樹木です。大きくなり、タネが各所に散らばり、い
たるところで増えています。

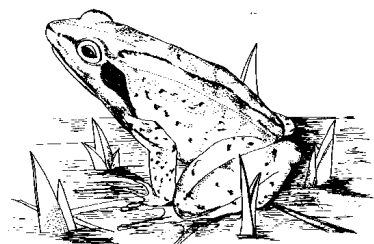
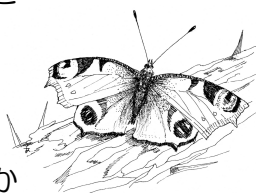
かつて、伐採で大きな問題になった場所や、運動地
に隣接する原生林にも影響を与えます。

知床の貴重な生態系は、動物にとどまらず植物、微
生物、昆虫と生き物すべてのサイクルが評価されて
います。手遅れにならないうちに、その対策をしっ
かり行い、後生へ繋いでいかなければならないの
ではないでしょうか？

知床の原生林がお手本です。あの環境を見たら、外
来樹木の遷移に委ねる～なんて、言えないはず。

「木を見て、森を見ず」

他に類を見ない、生態系の保全と原生の森の復元を
謳う素晴らしい運動だからこそ！と、思います。

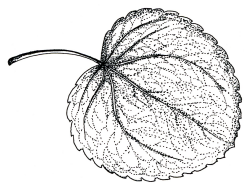


生態系って、私たちもその一部！
微生物だって昆虫だってですね

多くのガイドさんや、知床
に来られた方が、口にします。
この植林地が？運動地なのですか？と。
カラマツ・アカエゾマツは植生を荒廃
させているんです。
本当に早く手を打たなければ。



3月議会では来年度の予算も決まります・しかし、改選期であること
「骨格予算」と言われる予算編成です。
政策的予算は6月議会で計上されます。



●子どもの医療費無償化の事業の！なんと 準備が 始まりました！

「いきいき基金への積立」6000万円

まだ、財源確保の準備段階ですが、子どもの医療費無償化
(北海道では90パーセント以上の自治体で実施している事業です) 所得制限を設けず、
まずは中学生まででしようが、スタートできるといいですね。

一刻も早く、10月には仲間の議員と提言書を町長に提出。(北海道新聞にも掲載されました)
地域還元ポイント制については、その状態ではないと、感じました。



よかったです
よね！
議員で動いた
からね！

今の電気自動車
はすごいです
よ！例えば、PHV
は、灯油の宅配
のように電源の
必要な場所へ！
もしもの時の備
えに有効です。



●低公害車の購入 6台分の購入予定です

予算の関係からハイブリット車ということですが、ウトロにすでに配備されているプ
ラグインハイブリット車・つまり、非常時に電源確保が可能な車を2月の厳冬期に
避難訓練の一環で試験利用を行いました。(北見工業大学と国交省メンバーによる)

大変有効なデーターも出ています。全部とは言いませんが、防災や、冬季間の非常用
電源などを考え、配備することも考えてはどうでしょうか？

●うなべつスキー場運営助成金 870万円

今シーズンは、積雪が少なく期間も短い運営でしたが、町民の方々がたくさ
ん利用されていました。スキー人口は多い町だと思います。観光協会が運営
を行っていますが、施設の整備が必要な状況です。しっかりと、斜里町の
施設として運営計画を町も一緒に立てながら継続していくことが必要ではな
いでしょうか？流水を眼下に見る滑ることのできるスキー場は、全国でここ
だけ！スキー人口も微増傾向にある中で、貴重な施設だと思います。



町として力
入れるべき
じゃない！
かなあ

●国保病院の人工透析ベッド2床が増設 5708万円

と、前回号でもお知らせしましたが、改修工事の材料調達に時間がかかり、
完成が遅れるそうです。

子供も大人も、みんな利用しているし
少年団活動も活発。持続すべき施設ですよ。

総括質疑 聴いてみて！

○議会議員が何をやっているんだろ
う？何を考えているんだろう？どんな
視点を方向性を持っているんだろう？
町のために。

それが、よくわかるのは3月会議の新年
度予算質疑の最後に行われる「総括
質疑」だと思います。町長の政策、町
の事業全体に各議員が質疑を行います。
一般質問だけでなく、是非、この総括
質疑を聴いて見てください。

知床の価値の持続の
ためにできる観光



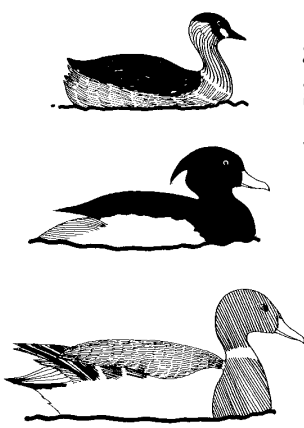
●以前も議会の場で私も訴え、一般質問もしてきましたが、ウトロ地域の
ゴミ処理を、今後、計画される広域の集積場所に長距離で運搬するのでは
なく、地域内で処理する方法を、宿泊税などを活用し実施することも必要
ではないか？ということ「総括質疑」の中、久保議員が質問されました。
斜里町のゼロカーボン計画にも入れるべきことだと思います。
世界自然遺産を有する、知床。環境に配慮した町の事業として、観光地の
ゴミ処理、今後検討して欲しいと思います。久保議員の提案に共感です！

●町長の情報発信は、必要ですよ。

以前から当時はブログで、町長が思うこと、町長として取り組もうとして
いること、方針、困ったことなど含めて町民への情報公開を行うべきと言
い続けてきました。が、さっぱり続かず諦めていたけれど。

でも、最近は特にDX(デジタルトランスフォーメーション)という事業で、
町長は町民の幸福に直結する取り組みだと説明されています。
そして、自ら「まちづくりの基本中の基本は情報発信！」と「つながり」
だと。だったら、今は特に色々なツールがある世の中。しっかり情報を発
信して欲しいし、すべきだという質問をしました。
個人・町長の立場とか？言っていました。町長として是非、町民に向けて
発信すべきだと思います。
町を引っ張るトップの町長の動きや、考え方を知って一緒にまちづくりし
たいですよ！

桜井の「総括質疑」の最後に、この内容を町長に問いました。



**桜井あけみ 今期で
議員活動を終えることにしました。**

**ありがとう
ございました。**

50歳で議員に
なったけど、
もう66歳！
若い人へ！



後援会長の松本です

●4期16年皆様のご支援とご協力を頂き誠にありがとうございました。

3年に及ぶ世界的なコロナ禍・ウクライナ戦争による世界経済の混迷・その上さらに小型観光船の事故と三重苦に陥っている斜里町です。

今期で議員最終年になりますが、支持者の方や様々な立場の方々から、「なぜ辞めるのか」との意見を聞いておりますが、桜井の意思を尊重します。

4期16年を振り返りますと・・・

- ・女性・主婦の立場で一党一派に属せずに町民の目線で中間派に所属し活動する
- ・保守・革新に偏らず是は是、非は非の立場を主張し、議員としての責任を全うする

ことを約束してきました。親戚も同級生も、団体もない、初めての「よそ者」議員を支えました。

桜井は最初から最後まで初志貫徹し、誠心誠意努力しました。情報収集と情報発信
行政用語よりも一般的な言葉でレポートを続けました。後援会長として皆様と同様、感謝しております。

今まで出来なかったお母さんの介護や、自分の生活を送ってください。そして、地域住民・各地からの人たちとのボランティア活動、町づくり活動などはこれまで同様に続けていくと思います。

これからもなお一層のご協力をお願いします。

2023年 令和5年3月21日

桜井あけみ後援会会長 松本鉄男



桜井あけみで検索しても関連ページが検索できます。

「桜井あけみ後援会」活動報告書 099-4351 斜里町ウトロ香川104

*後援会は4月30日をもって解散いたします。お世話になりました。

● 応援していただきありがとうございました。

みなさんに定例会議開催ごとに「議会レポート」を、お届けして今回で66号になりました。議会で議決されたこと、協議されたことを会議後に振り返り、整理することが、私自身の議会活動にとっては、とてもプラスになりました。

また、お届け後にメールや電話や、お会いした時にお話や、ご意見をいただくことが回を重ねるごとに増えて来たことも、とても励みになりました。

議員活動は、楽しく続けさせていただきました。それは、まず、町のために働けたこと。そして、応援してくださる皆さんと繋がれたこと。そして、ずっと支え続けてくれた後援会の仲間のみなさんのおかげです。議員活動は一人ではできません。

同時に、議員を長くやっていくことも町のためにはならないと思いました。次を繋いでいく、同じ思いを持った人は、必ずいます。その次の人へ、議員という仕事をバトンタッチです。

そのためには、退くことが必要です。若い世代へ！

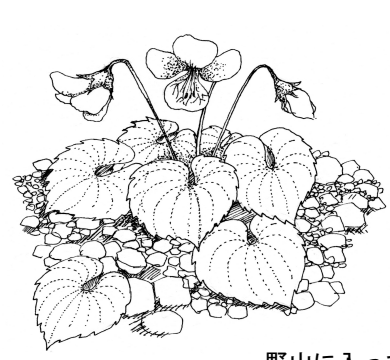
女性議員が少なくなる、という人もいらっしゃいますが、議員になったのは確かに先輩の女性議員の、姿を見ていたからです。でも、女性だからとか、もっと数を増やそうとか、半分は女性にとか、数にこだわり、体裁を整えるような動きには反対です。

女性であろうとなかろうと、しっかり町のために働く人でなければならないと思っています。自分の意思で議員を志す人であれば、男女は関係ないと思います。それを私は、畔木節子さんの姿を見て学びました。

公人という役割を終えても、町民の立ち位置でもっとこの町が良くなるように、動いて行きます。どこかで、見かけましたらお声をかけてくださいね。

支えてくださった後援会の皆さん、みなさんのおかげで、一緒に、楽しく議員活動ができました。そして、不勉強な桜井の質問を、提案を真摯に受け止め答え、時に対応してくださった行政の皆さんに。

16年間、ありがとうございました。 桜井あけみ



・野山に入って花を見たり、夫と知床スミレにも会いに行きます。虫や鳥を眺めて、後援会長の松本さんとキノコ採りにも！90歳になった母との時間も楽しみです～



もしも、文中の誤字脱字にありましたら、ごめんなさい・・・
相変わらず校正が苦手です。
長いおつきあい、ありがとうございました。